

総合評価落札方式の評価項目で対象とする「登録基幹技能者」の職種の拡大

建設工事において中核的な役割を担う「登録基幹技能者」の配置を促進し、工事目的物の品質の一層の向上を図るため、総合評価落札方式の評価項目で対象とする同技能者の職種（技術者要件）を拡大する。

1 現状

平成 24 年度から、建築工事の電気設備工事において「登録電気工事基幹技能者」、平成 25 年度から、機械設備工事において「登録配管基幹技能者」を総合評価落札方式の技術者要件で評価の対象としている。（加点 0.5 点）

2 取組内容

一定規模以上の建設工事において、工事内容に応じた「登録基幹技能者」の評価対象の職種を拡大する。

- ① 橋梁塗装工事等 → 登録 建設塗装 基幹技能者（県内 73 名登録）
 - ② 橋梁下部工工事等 → 登録 型枠 基幹技能者（県内 46 名登録）
 - ③ 道路築造（大規模土工）工事等 → 登録 機械土工 基幹技能者（県内 42 名登録）
- ※主任（監理）技術者のほかに自社の登録基幹技能者を配置した場合に加点（0.5 点）

3 実施時期

平成 28 年 10 月 1 日以降の公告案件で実施（10 件程度）

※その他職種（上記①②③以外）については、順次拡大を予定。

4 効果

- ・ 経験豊富な登録基幹技能者の配置によって、現場技能者の適正な配置、作業方法の具体的指示、適切な工程管理が成され、工事目的物の一層の品質の向上が期待される。
- ・ 登録基幹技能者の確保に努める優良企業の受注機会の拡大、さらにはそれを通じた若手技術者の確保・育成にも寄与することが期待される。

登録基幹技能者の主な役割

- ・現場責任者（主任技術者）に対し、現場の状況に応じた施工方法等の提案・調整を行う。
- ・現場の作業を効率的に行うため、現場技能者を適切に配置、作業方法・手順を的確に指示する。
- ・前工程、後工程に配慮し、他の工種の職長と連絡調整を図る。

【登録基幹技能者の認定要件（技能者の職種に応じて異なる）】

- ① 職種に応じた実務経験10年以上
- ② // 職長経験3年以上
- ③ // 技能者資格（1級土木施工管理技士、1級配管技能士等）



国土交通大臣の登録を受けた機関が実施する「登録基幹技能者講習」を終了した者
(H27.3 現在 33 職種、全国約 47,000 名認定)

※受講要件等の詳細は、HP「登録基幹技能者」を参照

(橋梁塗装・型枠・機械土工の技能者資格)

登録建設塗装基幹技能者

技能者資格 1級塗装技能士

登録機械土工基幹技能者

技能者資格（次のいずれかの資格取得者）

1級建設機械整備技能士、職業訓練指導員（土木施工・建設機械運転及び整備）、コンクリート破砕器作業主任者講習外16種、建設マスター、建設機械施工技士
施工管理技士（土木・建築・管工事・造園）（1級、2級）

登録型枠基幹技能者

技能者資格（次のいずれかの資格取得者）

1級型枠施工技能士、土木施工管理技士（1級、2級）
建築施工管理技士（1級、2級）

登録基幹技能者の職種一覧（33職種）

職種（登録〇〇基幹技能者）	建設工事の区分（建設業法）	職種（登録〇〇基幹技能者）	建設工事の区分（建設業法）	職種（登録〇〇基幹技能者）	建設工事の区分（建設業法）
電気工事 ※	電気、電気通信	鉄筋	鉄筋	ダクト	管
橋梁	鋼構造物、とび・土工	圧接	鉄筋	保温保冷	熱絶縁
造園	造園	型枠	大工	グラウト	とび・土工
コンクリート圧送	とび・土工	配管 ※	管	冷凍空調	管
防水	防水	髷・土工	とび・土工	運動施設	土木、とび・土工 建築、造園
トンネル	土木、とび・土工	切断・穿孔	とび・土工	基礎工	とび・土工
建設塗装	塗装	内装仕上工事	内装仕上	タイル張り	タイル・れんが・ブロック
左官	左官	サッシ・カーテンウォール	建具	標識・路面標示	とび・土工、塗装
機械土工	土木、とび・土工	エクステリア	タイル・れんが・ブロック とび・土工、石	消火設備	消防施設
海上起重	土木、しゅんせつ	建築板金	板金、屋根	建築大工	大工
PC	土木、とび・土工、鉄筋	外壁仕上	塗装、左官、防水	硝子工事	ガラス工事

※ 建築工事において、評価対象済